

今週のお祈り

聖霊降臨後第12主日(特定15) 特禱

主よ、どうか絶えることのない憐れみをもって主の教会を守ってください。人間ははかないものであり、あなたに頼らなければ倒れてしまうほかありません。み助けによって、害のあるすべてのものからわたしたちを守り、益となるものを与えて常に救いの道に導いてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン



日本聖公会 東日本教区
聖パウロ教会 にちようがっこう

〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1
でんわ: 03-3710-6031

号外 314

発行日
2026年
8月16日

今月はいつもにも増して平和について覚え、祈ります。今なお痛みや苦しみのうちにある人々の上に、主の癒しと慰め、そして平安が豊かに注がれますように。そして私たちが平和の器となることができますように。



今週のお祈り
マタイによる福音書 15

21
28

21 イエスはそこをたち、ティルスとシドンの地方に退かれた。22 すると、この地方に生まれたカナンの女が出て来て、「主よ、ダビデの子よ、私を憐れんでください。娘が悪霊にひどく苦しめられています」と叫んだ。23 しかし、イエスは何もお答えにならなかった。そこで弟子たちが近寄って来て願った。「この女を追い払ってください。」

聖書からのメッセージ

執事 林 汶慶

一人のお母さんが、娘の病気を治してほしくて、イエスさまのところにやってきます。ところが、イエスさまはすぐには答えてくさいませんでした。それだけでなく、お母さんには厳しい言葉を言われました。

私たちがだったら、「どうして?」「イエスさま、ひどい!」と思うかもしれません。

でも、このお母さんはイエスさまから離れませんでした。言葉の意味が分からなくても、イエスさまを信じ、あきらめませんでした。するとイエスさまは、「あなたの信仰は立派だ」と言われ、娘は癒されました。

私たちも、祈ってもすぐに答えが分からないことがあります。「神さまはどうして?」と思うこともあるでしょう。

分からないときにも、神さまから離れないこと。イエスさまを信じて、あきらめないこと。それが今日私たちに教えられている信仰なのです。

叫びながら付けて来ます。」24 イエスは、「私は、イスラエルの家の失われた羊のところにしか遣わされていない」とお答えになった。25 しかし、女は来て、イエスの前にひれ伏し、「主よ、私をお助けください」と言った。26 イエスが、「子どもたちのパンを取って、小犬たちに投げやるのはよくない」とお答えになると、27 女は言った。「主よ、ごもつともです。でも、小犬も主人の食卓から落ちるパン屑はいただきます。」28 そこで、イエスはお答えになった。「女よ、あなたの信仰は立派だ。あなたの願いどおりになるように。」その時、娘の病気は癒やされた。